

第2回 国道10号・220号の植栽と景観に関する検討会

日時：平成24年11月1日（木）

15:00～16:30

場所：宮崎河川国道事務所 1階会議室

会議次第

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議 事

- (1) 第1回検討会議事要旨の確認
- (2) ワシントニアパームの歴史・経緯
- (3) ワシントニアパームの生態・管理上の課題
- (4) 意向調査計画
- (5) 今後の進め方
- (6) その他

4. 閉 会

「国道10号・220号の植栽と景観に関する検討会」規約（案）

（名称）

第1条 本会は「国道10号・220号の植栽と景観に関する検討会」（以下「検討会」という）と称する。

（目的）

第2条 検討会は、次の各号に掲げる事項を審議及び検討する。

- 一 国道10号・220号（宮崎市江平東1丁目～同市大字熊野）における中央分離帯にあるワシントンアパームの整備のあり方
- 二 その他検討会において必要と認められた事項に関する事。

（組織構成）

第3条 検討会は、学識経験者等をもって構成し、委員は別紙「委員名簿」のとおりとする。

- 2 検討会に委員長を置き、委員長は会務を総括し検討会を代表する。
- 3 委員の追加及び変更は、検討会の承認を要するものとする。
- 4 検討会は、必要に応じて、専門家や有識者等の参加を求めることができる。

（第三者性）

第4条 委員は、検討会の目的に照らし、公正中立な立場から特定の行政機関及び特定の利害関係者等の利害を代表してはならない。

（委員の任期）

第5条 委員の任期は、検討会の検討事項が終了するまでとする。

（委員長）

第6条 委員長が、職務を遂行できない場合は、予め委員長が指名する委員がその職務を代理する。

（検討会の運営）

第7条 検討会は、委員長の発議に基づいて開催する。

- 2 検討会は、会の運営にあたり必要な資料等を事務局に求めることができる。

（守秘義務）

第8条 委員は、公開することが望ましくない個人情報等について漏洩してはならない。

（事務局）

第9条 検討会を運営するため、事務局を「国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所 道路管理第二課」に設置する。

(その他)

第 10 条 本規約に定めるもののほか必要な事項は、その都度検討会において審議して定めるものとする。また、本規約の改正等は、本検討会の審議を経て行うことができるものとする。

附 則 この規約は、平成24年 6月 8日から施行する。

「委員名簿」(案)

委員長	北川 義男	一般財団法人 日本造園修景協会 宮崎支部長
委員	出口 近士	宮崎大学 工学教育研究部 国際教育センター 教授
委員	吉田 晋弥	一般財団法人 みやざき公園協会 理事長
委員	日高 晃	橘通フラワーロード推進協議会 代表
委員	西山 昌彦	宮崎日日新聞社 論説委員
委員	上村 哲司	宮崎交通株式会社 取締役
委員	永田 宣行	宮崎県 県土整備部 道路保全課長
委員	栗原 正夫	国土交通省 国土技術政策総合研究所 環境研究部 緑化生態研究室長
委員	大脇 鉄也	国土交通省 宮崎河川国道事務所長
オブザーバー	外山 俊文	宮崎市 都市整備部 景観課長
事務局	国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所 道路管理第二課	

第1回 国道10号・220号の植栽と景観に関する検討会 議事要旨

平成24年6月8日

1. ワシントニアパームの印象

- ・ 空港を降りて、南BPのワシントニアパームを見て、南国的な気分になるという印象をあげる人が多い。
- ・ 学校にも植えられており、市民に親しまれている木になっている。
- ・ 宮崎市の市政モニターでも宮崎らしい樹木として、フェニックスと共に上位になっている。
- ・ ワシントニアパームのある道路景観の特性は、縦横比の珍しさとシークエンス(連続性)。

2. ワシントニアパームの歴史・経緯

- ・ 宮崎にとって当たり前な存在となっているワシントニアパームであるが、道路植栽として採用した理由や経緯が分からない。
- ・ また、宮崎における景観の考え方(全県公園化構想やロードパーク、景観条例 など)のなかで、ワシントニアパームがどのような役割を果たしてきたのか分からない。

3. ワシントニアパームの生態と管理上の課題

- ・ 道路上ではないが、過去に折れた事例もあり、適切な維持管理は必要。寿命がきて、ワシントニアパームが突然倒れることは避けなければならない。
- ・ 今後、維持管理コストと作業手間は増加する一方。これ以上高くなると、今以上大型の作業車が必要になり経費が増加する。それだけの予算が確保できるか心配。

4. 検討の進め方

- ・ フェニックスやワシントニアパームは、最初からシンボリックなものとして認知されていたわけではなく、年月を経て県市民の意識や認知が徐々になされ、地域のシンボリック存在になってきた。将来を見据えて、時間軸(過去→現在→未来)で捉えながら、将来の形を想像して検討していくことが大事。
- ・ ワシントニアパームをなくしてもいいが、その場合には、今まで30年以上かけて育ててきた以上のものを作る責任がある。
- ・ 管理コストによる植栽管理の面では、どこかを我慢してどこかを残すとか、植え替えるとか色々な手法が考えられる。単に植え替えるにしても、あれだけの量(本数)がいるのか。灌木が必要なのか。花がいるのか。コストとそのパフォーマンスを考えながら、投資に見合うだけの良いものにしていかなければならない。
- ・ ワシントニアパーム自体の植物としての特性についても今後整理して議論を進めていく。

5. アンケート調査について

- ・ パームとフェニックスの区別がつく人は多くない。アンケートをとる際は説明が必要。
- ・ 子供達の意見も聴いて欲しい。

第2回 国道10号・220号の植栽と景観に関する検討会

調査検討資料

平成24年11月1日

九州地方整備局 宮崎河川国道事務所

目次

1 .	ワシントンニアパームの歴史・経緯	1
	(1) フェニックスとワシントンニアパームの経緯	1
	(2) 道路景観形成の効果	1
	(3) ワシントンニアパームを植栽した理由	3
2 .	ワシントンニアパームの生態・管理上の課題	5
	(1) 生態の概要	5
	(2) 管理の課題	7
	(3) 撤去・植替え等の事例	12
3 .	知見のまとめ・検討の進め方	14
4 .	意向調査計画	15
	(1) 調査目的	15
	(2) 調査手法	15
	(3) 聞き取り調査の具体的計画	16
5 .	検討会スケジュール	18
	(参考) 検討対象区間	19

1. ワシントニアパームの歴史・経緯

(1) フェニックスとワシントニアパームの経緯

- ・昭和11年(1936年) 日南海岸(国道沿い)に岩切章太郎氏が『フェニックス』を植栽。
- ・昭和29年(1954年) 大淀川河畔の橘公園にフェニックス等を植栽
- ・昭和37年(1962年) 国道10号沿いにパンパグラスを植栽。
- ・昭和38年(1963年) 「美しい郷土づくり運動推進協議会」発足
- ・昭和39年(1964年) 南宮崎駅～旧宮崎交通本社前に、『ワシントニアパーム』を植栽。
- ・昭和41年(1966年) フェニックスが県民投票の結果、県の木となる
- ・昭和42年(1967年) 橘通りにワシントニアパームを植栽
- ・昭和44年(1969年) 沿道修景美化条例の制定 (次頁参照)
- ・昭和54年(1979年) ワシントニアパームを植栽した宮崎南バイパスが開通。



ワシントニアパーム植栽当初の南宮崎駅前の様子
(出典:宮崎・日南・串間今昔写真帖/郷土出版社)

(2) 道路景観形成の効果

- ・新婚旅行ブーム到来。【皇室の島津夫妻が新婚旅行で来県(昭和35年)、NHK連続ドラマ「たまゆら」放送(昭和40～41年)】
- ・ワシントニアパームは、南国ムードの道路景観の形成に寄与してきたものと考えられる。(植栽前と植栽後の写真参照↓)



昭和40年代新婚旅行ブーム(写真提供:宮崎交通株)



植栽前(南国ムードが感じられない)



植栽直後(南国ムードが感じられ個性的)

国道220号 南方付近 (出典:緑と花の道/宮崎河川国道事務所)

■宮崎県(沿道修景美化)における検討区間の位置づけ

ワシントンアパームが植栽されている国道10号・220号の修景・管理は県内でも重要視。

沿道修景美化条例(昭和44年制定)の目的

- ①県内の優れた「自然景観」「樹木や植物」を保護
- ②花木類を植栽 をすることによって沿道の修景を図り



郷土の美化を推進

- ①沿道修景植栽地区
- ②沿道修景指定樹木
- ③沿道自然景観地区

のそれぞれの地区・樹木を指定し、積極的に植栽・植樹することにより、美しい沿道環境の保全・創造を推進。

指定地区等においては行為の制限が設けられている。

「一般国道10号及び220号の沿道修景に関する協定」(昭和46年)

国と県が協力して国道10号と220号を維持管理

宮崎南バイパスを沿道修景植栽地区に指定(昭和55年)

(3) ワシントニアパームを植栽した理由 【岩切章太郎「無尽灯」などからの考察】

○無尽灯などの文献(記録)からは、ワシントニアパームを選んだ明確な理由は不明。

■ 記載事項

- ・昭和30年代に南フランス海岸、マイアミ海岸等、世界の南方的な観光地を視察。
- ・フェニックス、ワシントニアパーム、アメリカンデイゴ、サンゴシトウは、宮崎の看板になっている。
- ・その内、フェニックスはどこに出しても恥ずかしくない名所が出来上がっている。
- ・その他はまだ不十分であり、何とかして、それぞれにすばらしい景観、名所を作り上げたい。

推 測

- ◆宮崎を観光地として発展させるには『もっと南国情趣豊かな観光地』としなければならないと考えた。
- ◆南国情趣豊かな観光地づくりのためには『フェニックス以外の樹種も充実させるべき』と考えた。
- ◆道路植栽として『幅の狭い中央分離帯に植えるならワシントニアパームが適する』と考えた。

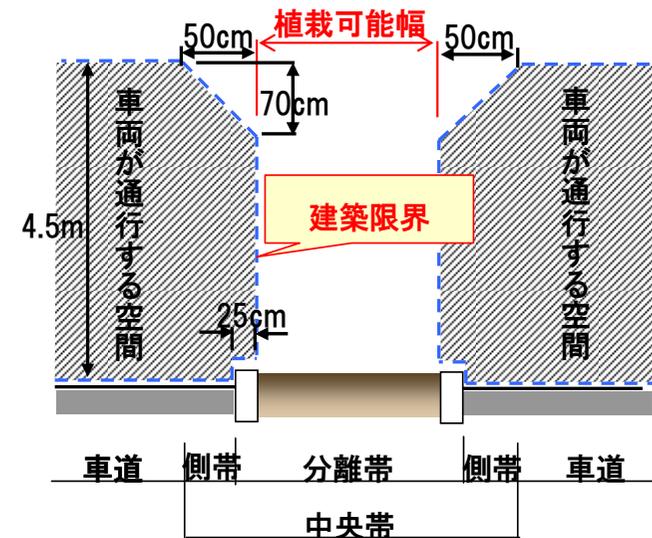
■中央分離帯における植栽の考え方

道路植栽計画にあたっては、以下の物理的制約がある。

- ①道路規格(横断構成)からの制約・・・樹木が健全に生育できる幅の確保
- ②道路交通からの制約・・・沿道からの車両乗り入れ
- ③道路占用物(地下埋設物、架空線)からの制約
- ④植物の生育条件からの制約・・・受水、傾斜、日照など
- ⑤建築限界からの制約
- ⑥交通の安全性からの制約(見通し確保)

『道路構造令』による“建築限界”の規定

道路上で車両や歩行者の安全を確保するため、一定の幅と高さの範囲内に障害となるようなものを設けてはならないという空間確保の制限がある。



◎その他の樹種: 幅の狭い中央分離帯の中では、枝葉が道路にはみ出して交通安全上の問題が生じる。

枝葉の広がりが大きく車道にはみ出す



国道220号宮崎南BP(大字郡司分付近)

樹高が低く枝葉伸びると車道にはみ出す



宮崎空港ターミナル前

曲がって成長するものが多い



鹿児島(桜島)溶岩道路

2. ワシントンニアパームの生態・管理上の課題

(1) 生態の概要 (出典: 園芸植物大辞典2(小学館)より)

■ 種類: ワシントンヤシ属

- ・アメリカ南西部からメキシコ北部に2種が分布。(成長過程で形態が変化するため、分類が混乱している。)
- ・検討対象地には、「オキナヤシモドキ」が植栽されているものと考えられる。

○ オキナヤシ (*Washingtonia filifera*) 英名: desert fan palm, petticoat palm

- ・日本国内での栽培は極めて少ない。
- ・幹はずんぐりと太い。高さ20m(径50~60cmで基部と頂部がほぼ同径)
- ・日本国内における栽培では、寿命は約60年。

○ オキナヤシモドキ (*Washingtonia robusta*) 英名: mexican washington palm, thread palm

- ・幹はすんなりと細く、高さ30~35m(径30~50cmで基部はとっくり状に肥大する)
- ※寿命に関する記載なし。



◎ 交配種: 上記の両種の交配種が知られており、形態的にオキナヤシに近く、誤認されることが多い。

◎ 栽培: ヤシ科の中で耐寒性が強く、-5°C以上の地方で露地栽培が可能。オキナヤシの方が耐寒性が強い。オキナヤシが乾燥地、オキナヤシモドキが水分の多い地帯に分布している。



※写真出典:

<http://davesgarden.com/guides/articles/view/3066/> より

左: *Washingtonia filifera* (オキナヤシ)

中: *Washingtonia robusta* (オキナヤシモドキ)

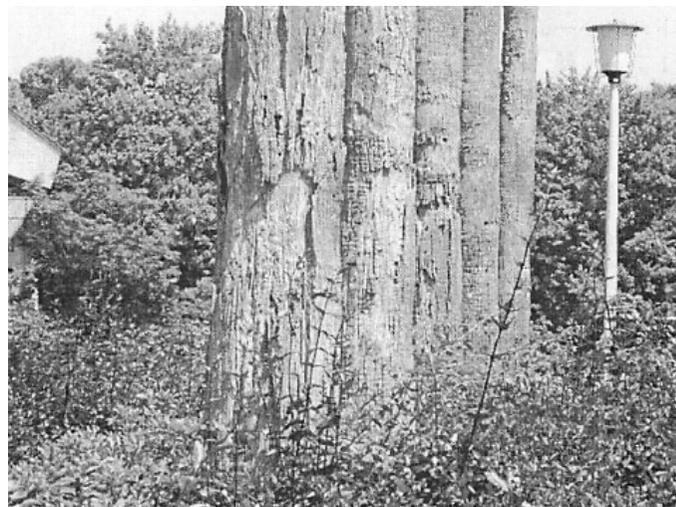
右: 枯れ枝を剪定していない野生の状態の *Washingtonia robusta*

■有識者ヒアリング 【北川委員長・服部樹木医事務所:服部雅樹氏】

- 寿命を特定することは困難。(老朽化して折れたりして自然に若い木に淘汰されていると思われる。)
- 先端付近にしか形成層が無い。(一度車が衝突するなど幹に傷がつけば一生残る。)
- 首折れや途中から切った場合は枯れる。
- 取り木、接ぎ木(中段を取り去って上段と下段を繋ぐ)の可能性はある。

(倒壊の危険性について)

- 強風で倒れた例がある。(主として首折れや幹の腐食、傷が原因)
- 根株腐朽菌で根元が腐る場合がある。(外傷も無く、目視では診断が困難)



- ・宇佐市役所玄関前のワシントニアパームの幹割れ、幹枯れ。
- ・樹齢50～60年位。
- ・強風等による幹折れを危惧し、H21年に伐採。



- ・枯死したオキナヤシ。

※左・中の写真出典:宇佐市役所HP

※右の写真出典:<http://davesgarden.com/guides/articles/view/3066/>

(2) 管理の課題

① 作業の手順



【管理作業の流れ】 ※作業基準:10分間平均風速が10m/S以下

- 高所作業車をパーム2本の間に配置。
- クレーンの首を振り、1箇所の停車で2本の作業を行う。
- 高所作業車のバケットにシュート(筒状の布)を取り付け。
- 落下防止ベルトを外し、剪定作業を行う。(詳細は下の写真参照)
- 除去した枝はシュートで投下。
- 枝はシュートを伝って、運搬用トラックの荷台に収集して搬出。
- 2本の剪定作業の後、次の箇所にスライド移動。



① 作業前の状況



② 落下防止ベルトを外す



③ ノコで葉柄(ようへい)除去



④ 人力で葉柄のはぎ取り



⑤ はぎ取り完成



⑥ 縄を葉柄に取り付け



⑦ 落下防止ベルト設置

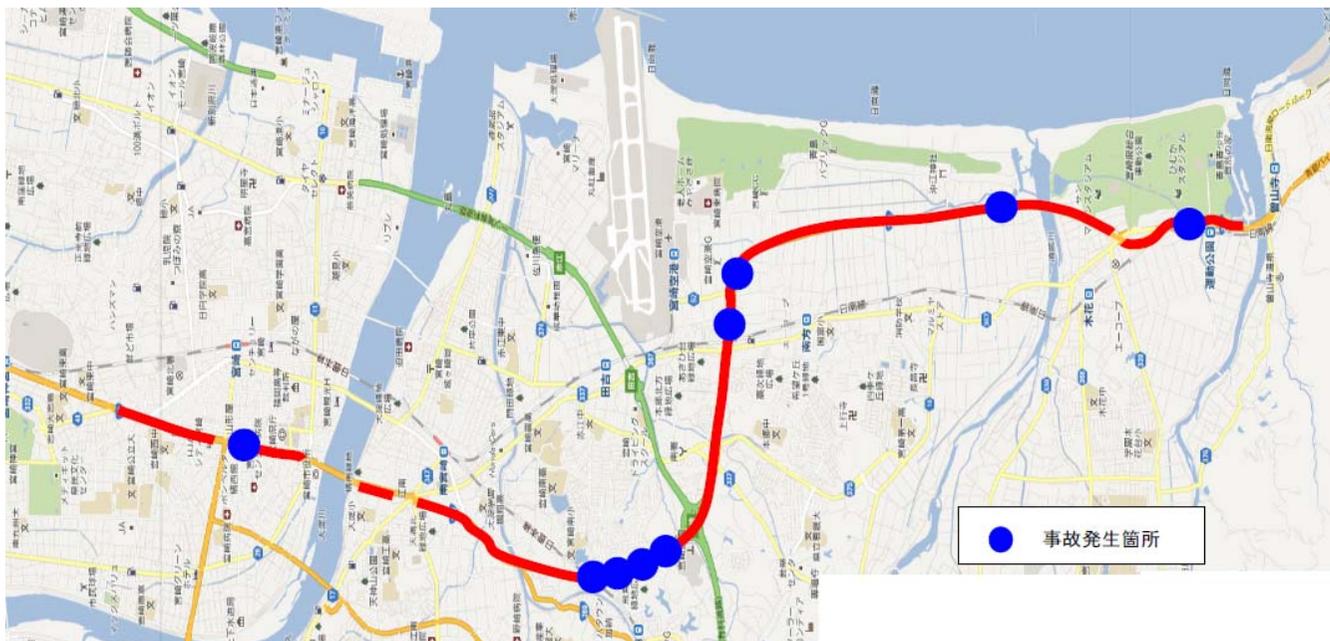


⑧ 作業完成

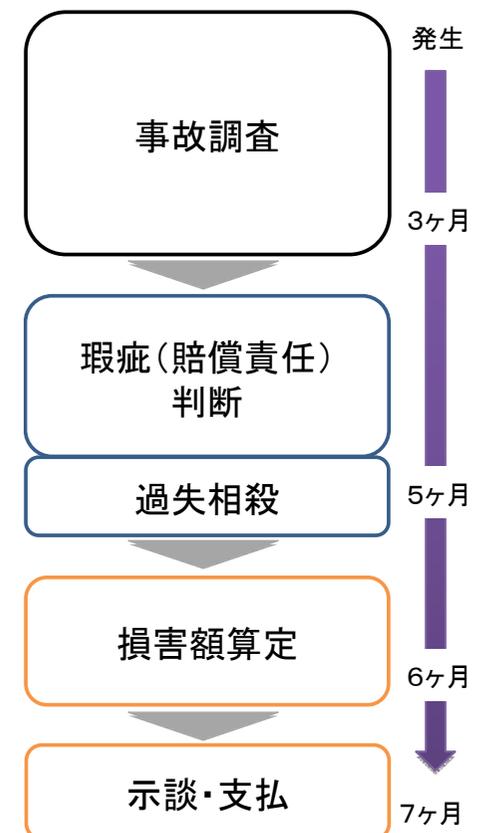
②問題点 (国、県、市の各道路管理者及び造園管理業者へのヒアリング結果より)

■枯枝による事故の発生

- ・枯枝の落下による車両への**損傷事故**が、過去10年間で9件発生。(確認できたもの)
- ・事故内容は全て枯枝が車両に落下して、車両に損傷を与えたもの。
(車両天井のへこみ、ボンネットのへこみ、バンパー損傷など)
- ・事故に対する補償は、国家賠償法により対応。



国家賠償法による
車両損傷事故の対応例



■維持管理の手間

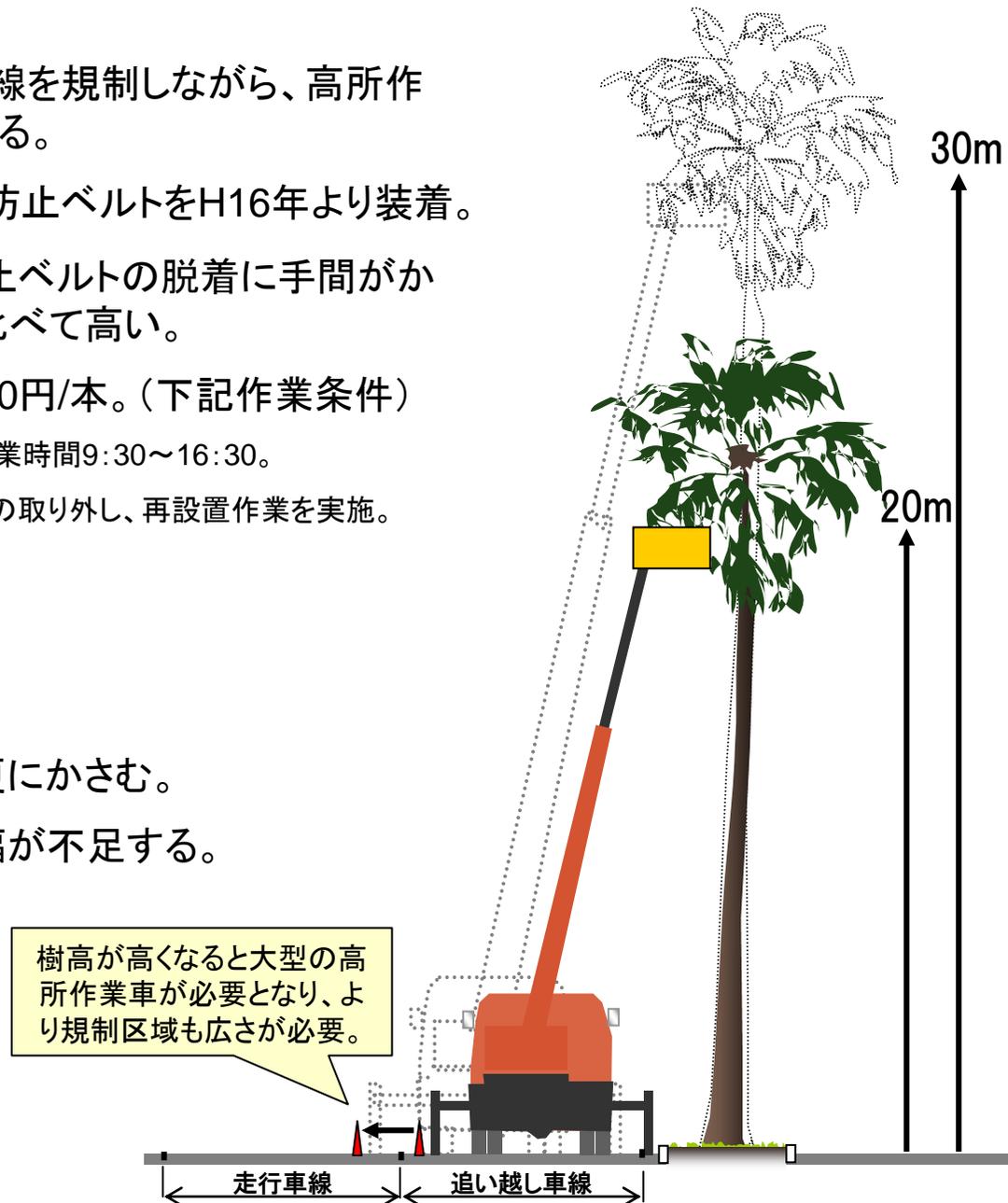
- ・剪定作業は、中央分離帯側の車線を規制しながら、高所作業車で枯枝の除去作業を行っている。
- ・枯枝の落下防止のために、落下防止ベルトをH16年より装着。
- ・通常の高木剪定と比べ、落下防止ベルトの脱着に手間がかかり、管理コストは通常の剪定に比べて高い。
- ・管理費は、H24年度単価で42,000円/本。(下記作業条件)
1車線を規制(閉塞)。昼間9時～17時。実作業時間9:30～16:30。
高所作業車による剪定及び落下防止ベルトの取り外し、再設置作業を実施。
作業は2～3本毎に規制区域を移動。
10～16本/日程度の作業を実施。

■剪定作業高さの限界

- ・樹高が高くなると、作業コストが更にかさむ。
⇒現在の1車線だけでは、規制幅が不足する。



落下防止ベルトの装着状況



③ 樹木診断の状況

● 簡易診断

- ・ 樹木医による診断（観察、触診、打診）
- ・ 樹勢、幹、根元、支柱部の状態を診断
- ・ 簡易診断は全てのパームを対象に実施



◇ 診断の様子（根元の記録）



◇ 樹勢：葉が小型化している状況



◇ 幹：開口亀裂の状況



◇ 根元：樹皮のはがれの状況



◇ 支柱：結束不良の状況

簡易診断カルテ ヤシ科植物用

事務所	調査日	調査者	(所属)				
路線名	距離程	上	下	中央	座標	緯度	経度
樹木番号	樹種	形状寸法 H(目測) = m , C(実測) = cm					
植栽地盤	■ 植栽樹 () m × () m ,		■ 植樹帯幅 () m ,		■ その他		
部位	評価項目	評価基準(口欄に✓印を記入) ※「表面の異常」とは、はがれ、変色、亀裂、欠損、腐朽、虫害等を指す。					
		0	1	2	3	4	
葉	樹勢	■ 良好	/	■ 葉色が悪い又は葉が小型化している	■ 上方向の葉が傾斜又は下垂している	■ 葉が全て下垂し変色している	
				■ 緑葉枚数が少ない	■ 上方向の葉がない又は枯れている	■ 葉がほとんどない	
幹	幹	■ 特に異常なし	■ 表面の異常あり(横幅が幹周囲長の1/10未満又は縦幅が樹高の1/10未満)	■ 表面の異常あり(横幅が幹周囲長の1/10~1/3未満又は縦幅が樹高の1/3~2/3未満)	■ 表面の異常あり(横幅が幹周囲長の1/3以上又は縦幅が樹高の2/3以上)	■ 表面の異常あり(横幅が幹周囲長の2/3以上又は縦幅が樹高の2/3以上)	
				■ 空洞あり(横幅が幹周囲長の1/3未満)	■ 空洞あり(横幅が幹周囲長の1/3以上)	■ 空洞あり(横幅が幹周囲長の1/3以上)	
根元	地際から50cm迄の範囲	■ 特に異常なし	■ 表面の異常あり(横幅が根元周囲長の1/10未満)	■ 表面の異常あり(横幅が根元周囲長の1/10~1/3未満)	■ 表面の異常あり(横幅が根元周囲長の1/3~2/3未満)	■ 表面の異常あり(横幅が根元周囲長の2/3以上)	
				■ 空洞あり(横幅が根元周囲長の1/3未満)	■ 空洞あり(横幅が根元周囲長の1/3以上)	■ 空洞あり(横幅が根元周囲長の1/3以上)	
緊急処置を要する項目(口欄に✓印を記入)							
支柱	■ なし ■ あり		処置: ■ 不要 ■ 撤去 ■ 修繕 ■ 再設置				
その他安全管理に関する特記事項	危険な枯損葉、根元の大きな揺らぎ、架線支障枝、害虫の集団発生等緊急処置を要する事項: 記入がある場合は総合評価はEとする						

● 詳細診断

- ・ 簡易診断で、より詳細な診断を要するパームを対象に実施
 - ・ 診断項目は、以下の9項目について診断
- ①開口空洞、②腐朽状態、③幹の亀裂、④表面の欠損、⑤幹途中の不定根、⑥表面のはがれ、⑦幹のくびれ、⑧樹体の傾き、⑨支柱の食い込み
- ・ 結果に基づき、必要な対応（薬剤塗布、伐採等）を行う 10

○欠損状況の事例写真



開口空洞



腐朽状態



幹の亀裂



表面の欠損



幹途中の不定根



表面のはがれ



幹のくびれ



樹体の傾き

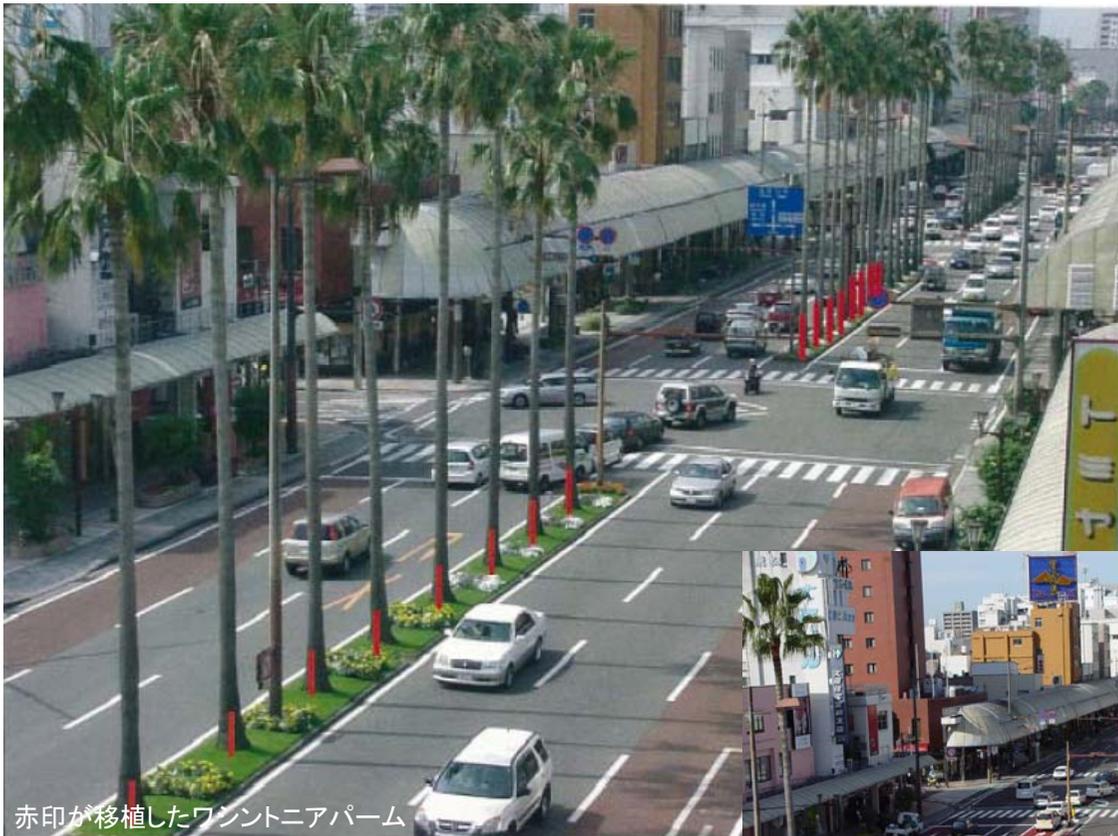


支柱の食い込み

(3) 撤去・植替え等の事例

■事例①: 移植 (事例: 宮崎河川国道事務所H18)

- ・橋通二丁目交差点の交差点改良に伴い、ワシトニアパーム16本を移植。
- ・移植先は、臨海公園(5本)、県庁(1本)、橋公園(6本)、白浜海水浴場(4本)。



↑ 交差点改良前の状況

整備後の状況→



掘り取り



枯枝除去



根巻き



積み込み



吊り込み



■事例②：撤去（事例：福岡国道事務所H19）

- ・国道3号（中央分離帯：約2km）のワシントニアパーム47本（昭和38年植栽）を対象に樹木診断。
- ・危険性が高い8本を撤去。（跡地は低木等を植栽）
- ・事前に「街路樹連絡会」を開催し、周知した。（連絡会：地元自治会、町内会、樹木医、道路管理者）



左：記者発表資料（福岡国道事務所）

中央：幹が腐朽した状況

右：幹のくびれが著しい状況

左下：樹木連絡会での樹木診断結果の説明状況



ワシントニアパーム樹木診断箇所

3. 知見のまとめ・検討の進め方

歴史・経緯

- ・フェニックスなどと共に「南国情趣豊かな観光地」となる道路景観の形成に寄与
- ・日南海岸～県都を結ぶロードパークを形成
- ・沿道修景植栽地区に指定(条例)

生態

- ・樹高30～35mに達する可能性あり
- ・寿命を推定することは困難
- ・病気による倒木の危険性あり

維持管理

- ・枝葉の落下による事故の発生
- ・樹高が高くなり、剪定作業高さの限界
- ・維持管理の手間による管理コスト高

課題

地域景観の継承

- ・地域景観(財産)を未来に受け渡す必要あり
- ・当該区間は地域景観を代表している
- ・市民への周知、理解を求める必要あり

安全・管理の確保

- ・持続可能な維持管理(作業性、費用等)
- ・枝葉の落下(事故原因)への対応
- ・パーム自体の老朽化(倒木)への対応

一般市民・観光客
の意向(参考)

対応(例)

- 案①: 管理予算を増やしてでも、今のワシントニアパームを維持
- 案②: 現況のワシントニアパームの本数を減らして管理を維持
- 案③: 背が低くて若いワシントニアパームに植替え
- 案④: 別の樹種に植替え
- 案⑤: 植栽は全て撤去

4. 意向調査計画

(1) 調査目的(2つの目的)

● **目的1: 一般市民・観光客等の意向を把握**

⇒ワシントニアパークの「認識」「価値」「安全性」「対応の方向性」に関する意向を把握する。

● **目的2: 問題を広く周知**

⇒ワシントニアパークの維持管理について、困っている状況を正しく理解していただく。

(2) 調査手法

手 法		概 要	メリット・デメリット	
紙	配布式アンケート	アンケート用紙を対象に自治会協力で配布・回収。	比較的回収率が高い。(自治会協力の場合) 回収に労力がかかり、自治会の負担が大きい。(郵送回収は費用増)	△
	置き式アンケート	人の集まる場所にアンケート用紙を設置。 その場で記入。回収BOXで回収。	比較的手間がかからない。 回収率が低い。保管が困難。	○
電子	HPアンケート	宮崎河国HPにアンケートを掲載。 県、市HPにもリンクバナー掲載の協力を依頼。	手間がかからない。 回収率が極めて低い。(掲載するだけでは人目に触れない)	○
	WEBアンケート	登録モニターを対象にWEB上でアンケート配布・回収。	回収率が極めて高い。短期間で回収が可能。 登録者属性の偏りが懸念。有償アンケートのため費用がかかる。	×
聞き取り	路上聞き取り	人の集まる場所で聞き取り形式でアンケート調査。	係員の労力がかかる。(人数を要する) ニュアンスの伝達性に優れ、比較的正確な回答が得られる。	◎
	電話聞き取り	電話帳登録者を対象に無差別に電話アンケート。	特にメリットなし。 電話では情報伝達に限界がある。不信感が感じられてしまう。	×
	訪問聞き取り	事前連絡の後、訪問して面会による聞き取り調査。 ※みやざき観光コンベンション協会 ※観光事業者(宮崎交通株)・宮崎県タクシー協会) ※活動団体(日南海岸シーニックバイウエイ推進協)	訪問先にも時間を裂いていただく必要がある。 詳細かつ専門的な内容を調査できる。	○

(3) 聞き取り調査の具体的計画

◎方法: 調査員が市民や観光客等に対し、**対面式**で意向を聞き取る。

◎場所: 以下の5箇所 ◎目標回答数: **500人** (目安⇒5箇所×100人)



みやざきアートセンター広場



宮交バスセンター



POINT⑤



道の駅「フェニックス」



JR宮崎駅



宮崎空港

聞き取り状況のイメージ



- その他候補地
- ・イオンモール宮崎
- ・JR南宮崎駅
- ・宮崎県庁
- ・宮崎市役所 等

◎その他：周知・意見募集

○問題の周知

⇒リーフレットの配布

- ・維持管理の問題を広く周知するため、リーフレットを配布。
(自治会協力で各班に配布を予定)

○意見把握(補完)

⇒①HPアンケート

- ・リーフレットで、ご意見募集を呼びかけて、PCでアンケートに回答いただく。

⇒②紙アンケートも設置

- ・PC等を使わない人も回答できるよう、紙アンケートと回収ボックスを設置。

HPとリンクしてアンケート(宮崎河川国道HP)



←リーフレット

↓ アンケート



回収BOX設置(紙)



①みやざきアートセンター



②宮崎市役所(本庁舎)



回収BOX

アクリル製

幅:25cm

奥行き:18cm

高さ:25cm

※その他、宮崎河川国道事務所、宮崎維持出張所にも設置、回収。

5. 検討会スケジュール

第1回検討会(H24年6月8日)

- 検討会規約
- 検討方針
- 検討の進め方



第2回検討会(H24年11月1日)

- ワシントニアパークの歴史・経緯
- ワシントニアパークの生態・管理上の課題
- 意向調査計画について
- 検討の進め方について



第3回検討会(H25年2月予定)

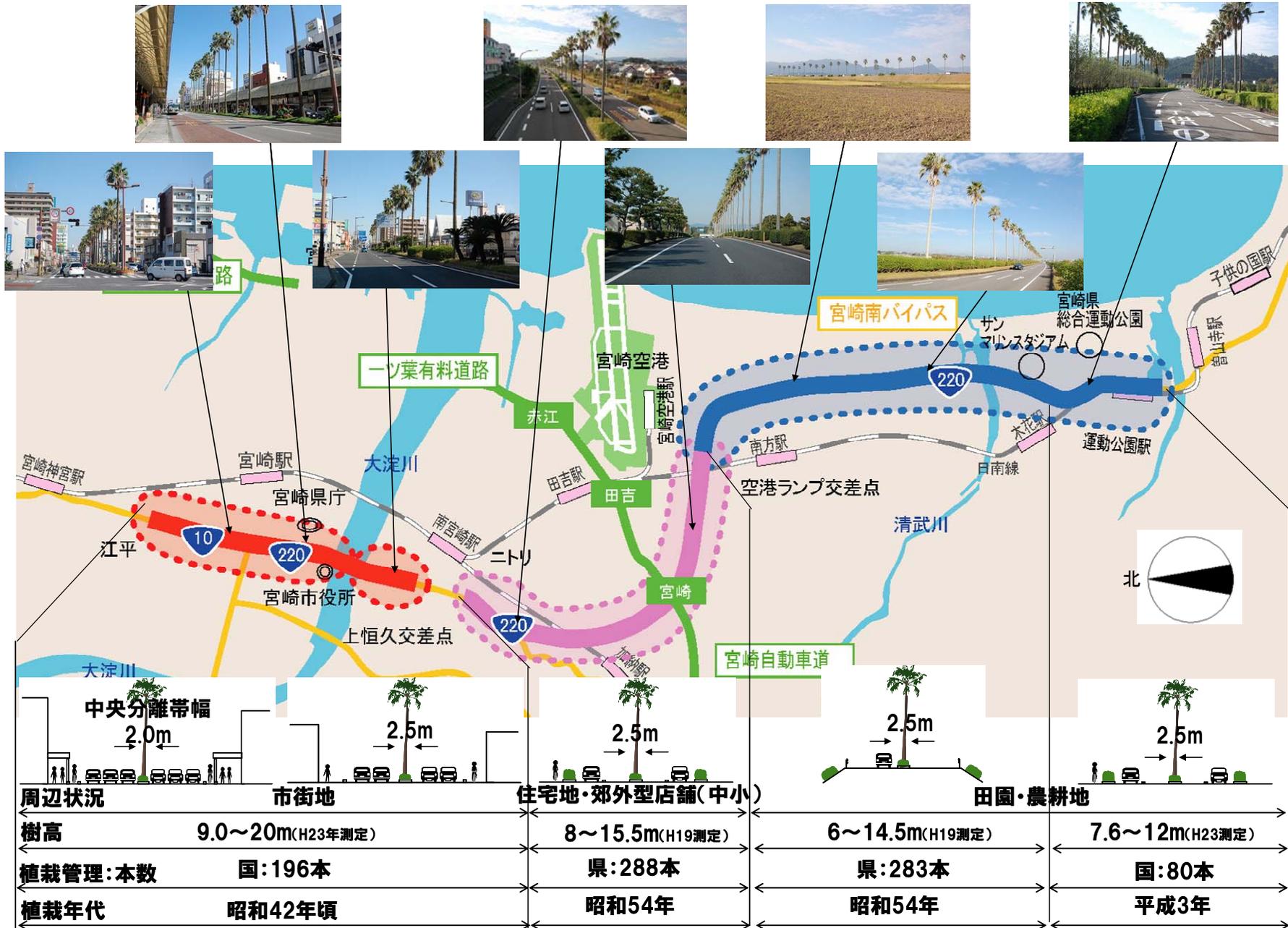
- 意向調査結果について
- 整備方針案の方向性について

(参考) 検討対象区間

- ・本検討の対象区間は、宮崎市江平東1丁目～同市大字熊野(L=約14.7km)
- ・対象区間周辺には、空港、道路、鉄道、行政機関、大学等、都市機能が集積し、「地域の顔」となる道路



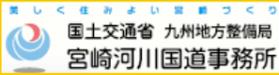
■ 検討区間の状況



● 道路植栽におけるワシントニアパーム847本(検討区間) ※宮崎地域内では全3,468本(国・県・市)

※本数は平成24年10月現在

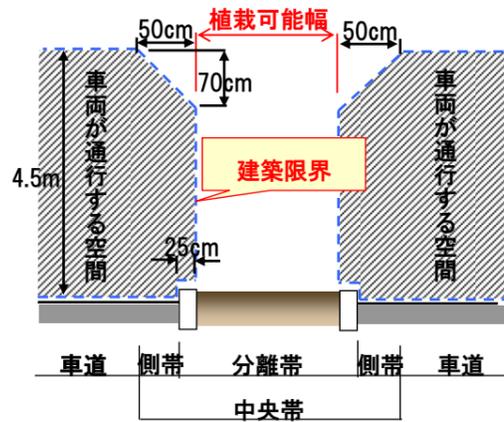
どう思いますか？みなさん



道路の中央分離帯に植栽を植える場合の規定

道路植栽計画にあたっては、つぎの物理的制約があります。

- ①道路規格（横断構成）からの制約：樹木が健全に生育できる幅の確保
- ②道路交通からの制約：沿道からの車両乗り入れ
- ③道路占用物（地下埋設物、架空線）からの制約
- ④植物の生育条件からの制約：受水、傾斜、日照など
- ⑤**建築限界からの制約**
- ⑥交通の安全性からの制約（見通し確保）



『道路構造令』による“建築限界”の規定

道路上で車両や歩行者の安全を確保するため、一定の幅と高さの範囲内に障害となるようなものを設けてはならないという空間確保の制限があります。

中央分離帯の幅にゆとりがある場合には、つぎのような形で道路緑化されています。

- ①低木（サザンカなど）を植える（例：宮崎北バイパス）
 - ②地被類（芝など）を張る
- また、幅が狭くて緑化できない場合は、コンクリート（雑草抑制）などを張ります。



みなさんのご意見を募集しています

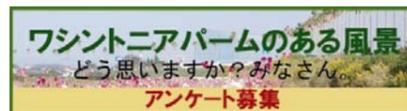
今、国道10号・220号のワシントニアパームを管理している国土交通省では、検討会を設置して、今後のワシントニアパームの管理のあり方を検討しています。そこで、みなさんの声を伺い、参考にさせていただこうということで、ご意見を募集することになりました。

■方法①：インターネットのアンケート

国土交通省宮崎河川国道事務所 (<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>)

「宮崎河国」や「宮崎河川国道」で検索するとヒットします。

また、宮崎県庁のホームページにも掲載しています。
右のバナーをクリックし、アンケートに進んでください。



■方法②：紙のアンケート

つぎの場所にアンケート用紙があります。用紙に記入して、併設の回収箱に投函してください。

場所	住所
宮崎市役所 本庁舎1階エレベータ前	宮崎市橋通西1丁目1番1号
みやざきアートセンター（3階）	宮崎市橋通西3丁目3番27号 アートセンタービル3階
国土交通省 宮崎河川国道事務所	宮崎市大工2丁目39番地
国土交通省 宮崎維持出張所	宮崎市大字島之内 7180-1

募集期間：平成24年12月●日（●）まで

【問合せ先】

国土交通省 宮崎河川国道事務所 道路管理第二課
〒880-8523 宮崎市大工2丁目39番地 TEL:0985-24-8512（道路管理第二課直通）



南国宮崎を演出するワシントニアパーム

宮崎は、昭和30年代～40年代には新婚旅行のメッカとして全国から多くの観光客が訪れるようになりました。

宮崎の観光事業を引っ張ってきた岩切章太郎氏（宮崎交通株初代社長）は、世界各地の観光地をめぐり、それらをヒントにフェニックスやワシントニアパームを宮崎の道路に植え、南国イメージづくりに力をそそぎました。はじめて宮崎の道路にワシントニアパームが植えられたのは、岩切氏による南宮崎駅前～旧宮崎交通株本社前とされています。



写真提供：宮交ホールディングス株



ワシントニアパームを植えたばかりの南宮崎駅前の様子
写真出典：宮崎・日南・串間今昔写真帖（郷土出版社）

宮崎の動脈となっている国道10号や220号にも、中央分離帯にワシントニアパームが植えられました。植えた当時は、高さ3m～4m程度だったものが、高いものでは15～20mまで成長しています。



中村交差点付近(昭和54年) (平成24年)



月見が丘付近(昭和54年) (平成24年)

ワシントニアパームという木

一言でいえば「ヤシの木」ですが、ヤシの木といっても色々な種類があります。宮崎には色々なヤシの木が植えられていますが、宮崎の道路の真ん中（中央分離帯）に植えられた、一番背の高いヤシの木がワシントニアパームです。高さは30m以上に成長するものもあるようです。



宮崎で見られる南国イメージの木



◆ビロウ

- 高さは、高くても8~10mくらいです。
- 枝葉が落ちる点は、ワシントニアパームと同じです。

◆ソテツ

- 高さは、だいたい3mくらいです。
- 比較的、落葉はすくない方です。
- 曲がって成長するものも多く見られます（車道に影響）。

◆フェニックス

- ・高さは、高くても12mくらいになります。
- ・枝葉が大きく広がります。

ワシントニアパームの管理って、たいへんなんです！

台風や風の強い日には、枯れた枝葉が道路に落ちてきて、道路を通る車などに損傷を与えてしまうことがあります。



枯枝が落ちて、このような事故をまねかないように、古い枝を切り落とす維持管理を人の手作業で行っています。



除去した枯枝はシューター（筒状の布）の中に入れて落とします。



垂れ下がる枯枝



枯枝切除の様子



落下防止ベルトの装着



1本1本の枝を縄を取付け

維持管理作業は、中央分離帯側の車線を規制し、高所作業車を停車させ、ワシントニアパームの枝葉部までクレーンを伸ばして作業します。枯枝の除去作業などを終えた後、伸ばしたクレーンをいったん縮めて隣の場所に少しずつ移動させながらの作業になります。また、特に交通量の多い国道では、枯枝落下防止ベルトをつけているため、装置の脱着にも手間がかかっています。

現在、高さが20m近くに達するほど成長しているものもあり、今後、ワシントニアパームの成長が続けば、維持管理作業も大変になってきます。



枯枝落下防止ベルトの装着状況

1. 最初に、ワシントニアパームについてお伺いします

次の質問に、それぞれ一つだけ番号を○で囲んでください。

1) ワシントニアパームという木が宮崎にあることを知っていましたか？

- ①ワシントニアパームという名前まで知っていた。
- ②知っていたが、ヤシの木としか意識していなかった。
- ③知らなかった。

2) ワシントニアパームは宮崎らしいと感じますか？

- ①宮崎らしい。
- ②宮崎らしいとは感じないが、南国的なイメージを感じる。
- ③宮崎にワシントニアパームは似合わない。
- ④わからない。

3) あなたにとって印象的なワシントニアパームの風景はどこですか？

印象的だと思うすべての番号を○で囲んでください。(複数回答可)

- ①橋通り(国道220号)
- ②宮崎インター～空港付近(国道220号)
- ③宮崎空港～運動公園(国道220号)
- ④一ッ葉有料道路
- ⑤南宮崎駅付近
- ⑥宮崎駅付近
- ⑦宮崎空港付近
- ⑧旭東通り(市役所～宮崎港の通り)
- ⑨宮崎島之内線(イオンの前の通り)
- ⑩その他()
- ⑪特にない

2. これまで、車やバイクで道路を走行中(同乗中でも結構です)、ワシントニアパームの枝が落ちてきて危ないと思ったことはありますか？

- ①ある。 ⇒ 次の質問へ
- ②ない。 ⇒ 3.へ

①を選ばれた方にお伺いします。

今後、ワシントニアパームの剪定をどのようにすれば良いと思いますか？

- ①剪定の必要はない(落ちてきても仕方ない)
- ②引き続き今の予算の範囲内で管理を行えば良い。
- ③枯れ枝が落ちることは一切許されない。
- ④その他()
- ⑤わからない

3. 今のままでは、ワシントニアパームの枯枝が落ちないように維持管理を続けていくことが困難になると考えられています。これに関し、今後どうすれば良いと思いますか？

良いと思う方法について、一つだけ番号を○で囲んで下さい。

- ①管理予算を増やしても、今のままワシントニアパームの管理を続ける。
- ②今のワシントニアパームの本数を減らし、管理を続ける。
- ③樹高が低く若いワシントニアパームに、順次植え替える。
- ④ワシントニアパームより管理がしやすい別の樹種に、順次植え替える。
植え替えたい樹種があればご記入下さい。()
- ⑤ワシントニアパームを含め、植栽は全て撤去する。
- ⑥その他()
- ⑦わからない

●その他、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

■最後にあなた自身について教えてください。

あてはまるものを○で囲んで下さい。

- ◎性別：男 女
- ◎お住まいの地域：宮崎市、宮崎市以外の県内、他県(県名：)
- ◎年齢：19歳以下、20歳代、30～40歳代、50～60歳代、70歳以上

リーフレットを読んでお答えください

ご協力いただき、まことにありがとうございました。皆様のご意見を踏まえて、より良い管理の方法を考えていきます。
国土交通省 宮崎河川国道事務所